



Meguro
Museum of
Art, Tokyo

遙かなる
イタリア
AND
川村清雄
AND
寺崎武男



目黒区美術館

2025.4.19 SAT - 6.8 SUN

午前10時 - 午後6時 (入館は午後5時30分まで)
月曜休館 (5月5日は開館 / 5月7日は休館)

上：① 川村清雄《ベネチア風景》1920-34年頃、
油彩、水性絵具・板、目黒区美術館
下：② 寺崎武男《天正遣欧使節 ヴァチカンへの行列》1917年頃、
紙本着彩(テンペラ) 六曲一双屏風、千葉市美術館寄託(星野画廊)

遥かなる イタリア と 寺崎武男 AND 川村清雄 KAWAMURA KIYOO TERASAKI TAKEO

遥かなるイタリアに渡った二人の画家 川村清雄と寺崎武男

● 展覧会概要

目黒区美術館では、戦前に欧米に留学した画家の作品を収集し、展覧会等を通じて紹介してきました。この度は、イタリアに留学した二人の画家、川村清雄（1852-1934）と寺崎武男（1883-1967）を取り上げます。

川村は、交流のあった勝海舟の斡旋で、明治維新直後に徳川家留学生としてまずは米国留学します。同地の下宿先では、新紙幣で話題の津田梅子とも出会っています。その後、フランス経由でイタリアに渡り、ヴェネツィアの美術学校に学びます。同校ではコンクールで入賞するなど、優秀な成績を修めました。帰国後は、作品の設置される当時の日本の建築空間や環境を考慮し、屏風や漆器、板、帯などに油彩で描く作品を残し、日本における油彩画の在り方を模索しました。

もう一方の寺崎は、東京美術学校に学んだ後、川村より遅れてヴェネツィアに渡り、同地の美術学校で学びます。テンペラやフレスコ、銅版画など、当時の日本ではあまり知られていなかった技法の習得に勤しみ、帰国後はその普及に努めます。また、ヴァチカンで見た天正遣欧使節団の壁画に感銘を受け、壁画の研究をおし、目黒区のカトリック碑文谷教会（通称サレジオ教会）の壁画、聖徳記念絵画館での制作などに、その成果が現れました。

中央画壇と距離を置いて活動したことや、作品があまり現存していないなどの事情から、現在では川村と寺崎の名はあまり知られていないかもしれません。しかし二人は共に、文化の異なる遥かなるイタリアに学び、帰国後にその成果を日本の絵画にどのように反映させるか苦悩しながらも、東西の文化を深く研究し、新しい時代にふさわしい日本の洋画の創造に挑みました。本展では、二人の制作を展覧しご紹介します。

● 見どころ

● 3年間の修復を経て蘇った、寺崎によるヴェロネーゼの模写がお目見えます

寺崎が模写したヴェロネーゼ作の《レヴィ家の饗宴》(図③)を、愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所における3年間の修復のプロセスも併せて紹介しながらお披露目します。



③ 寺崎武男《ヴェロネーゼ「レヴィ家の饗宴」模写》
制作年不詳、油彩・キャンバス、目黒区美術館

● 普段目にする機会の少ない川村清雄と寺崎武男の作品が数多く出品されます

川村については、当館所蔵のほぼすべての作品を出品します。寺崎は移動が困難な壁画作品が多い為、これまで美術館での展示の機会にあまり恵まれてきませんでした。本展では、当館以外にも、千葉市美術館やNPO 法人安房文化遺産フォーラムの所蔵する貴重な作品を展示します。

● 作品画像



④



⑤



⑥



⑦

④ 川村清雄《村上彦四郎（村上義光 錦御旗奪還図）》
1920-34年頃、油彩、金箔・絹、二曲一隻屏風、目黒区美術館

⑤ 川村清雄《幼児石膏習作》
1873-81年頃、コンテ・紙、目黒区美術館

⑥ 寺崎武男《赤い家 イタリア》
制作年不詳、着彩（テンペラ）・紙、目黒区美術館

⑦ 寺崎武男《黄帆船図》
1920年代、着彩（パステル）・絹本、目黒区美術館

寺崎武男
AND
川村清雄
AND
遥かなる
イタリア

● 開催情報

タイトル	「遥かなるイタリア 川村清雄と寺崎武男」
会 期	2025年4月19日(土) - 6月8日(日)
開館時間	午前10時 - 午後6時(入館は午後5時30分まで)
会 場	目黒区美術館
休 館 日	月曜休館(5月5日は開館/5月7日は休館)
観 覧 料	一般900(700)円、大高生・65歳以上700(550)円、中学生以下無料 *障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金 *目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります (他の割引との併用はできません)
主 催	(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

● 関連催事

- 講演会「川村清雄と寺崎武男のイタリア」
『ヴェネツィアと日本 美術をめぐる交流』や『明治期のイタリア留学』などのご著書のある、日伊交流史を専門とされる講師をお招きして、川村清雄と寺崎武男のイタリア留学についてお話いただきます。
日 時：4月27日(日) 午後2時～3時30分
講 師：大阪芸術大学 教授 石井元章
場 所：目黒区美術館 1階ワークショップ室
参加方法：当日先着順(当日有効の観覧券が必要です)
定 員：50名程度
- 大人のための美術カフェ：遠足編「カトリック碑文谷教会(通称サレジオ教会)」
寺崎武男が描いた壁画《主の洗礼(ヨハネとキリスト)》を観るツアー
日 時：5月11日(日) 午後2時～3時頃
場 所：カトリック碑文谷教会(通称サレジオ教会)[東京都目黒区] 現地集合
参加方法：事前申込制(当館ホームページからお申込みください)
定 員：25名程度
ナビゲーター：当館学芸員
- 大人のための美術カフェ：トーク編
本展を担当した学芸員が、展覧会開催までの経緯や見どころについて話します。
日 時：5月24日(土) 午後2時～3時頃
場 所：目黒区美術館 1階ワークショップ室
参加方法：当日先着順(当日有効の観覧券が必要です)
定 員：30名程度

● 広報用写真

本リリース掲載の図版①～⑦を本展広報用写真としてご提供いたします。
ご希望の方は、申込用紙(4ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をご記入いただき、Faxでお申込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにてお申込みください。

● 本展の問い合わせ先

展覧会担当：山田真規子(学芸) 天野ゆかり・丸 制史(広報・事務)
〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36
Tel. 03-3714-1201(代) Fax:03-3715-9328
email: mmatoffice@mmat.jp <https://www.mmat.jp>



遙かなるイタリア 川村清雄と寺崎武男 広報用画像申込書

宛先：目黒区美術館「遙かなるイタリア」展 担当者 宛

FAX：03-3715-9328 E-mail：mmatoffice@mmat.jp

- 本票に必要事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の図版番号をお知らせ下さい。掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

お申し込み日	年 月 日		
御社名			
ご担当者氏名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
掲示媒体名 (雑誌名など)			
メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 () 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ()		
発行・放送予定日	年 月 日		
ご希望の画像	<p>図版番号</p> <p>①～⑦のご希望の図版番号をご記入ください</p> <p>{</p>	<p>使用条件等</p> <p>*写真画像への文字載せは不可です。 *原則、写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *各作品のキャプションを必ず明記してください。</p>	
連絡欄			

- お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。
- 使用にあたっては、【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。必ずご確認くださいませようお願いします。

【広報用画像について】

- ・画像データはメールにて送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- ・使用后、データは破棄してください。
- ・展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- ・画像への文字載せは不可です。
- ・画像使用の際は、キャプション、クレジットを明記してください。
- ・掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。
- ・Web サイトは公開後に URL をお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。

◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。ご希望の方は下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を [希望する ・ しない]

< 広報用画像に関する問い合わせ先 >

目黒区美術館
TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328
展覧会担当：(学芸) 山田
(広報・事務) 天野・丸